



1. 散策に訪れる人が多い「お鷹の道」 2. 早稲田実業学校の正門前にある「宇宙開発発祥の地記念碑」
3. 市の鳥カワセミを観察できる「都立武蔵国分寺公園」 4. 国分寺まつりで行われる「歴史行列」

CONTENTS

- 2 東京都議会自由民主党・公明党・民主党に平成28年度東京都予算等で要望
「小規模企業への支援のさらなる充実」や「商工会等を中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の拡充」など16項目
- 3 自由民主党の平成28年度予算・税制改正等要望聴取会
「小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化」など12項目を要望
- 8 商工会女性部全国大会 in TOKYOを開催
都内27商工会女性部が全国から集まった3000人を“おもてなし”
- 4 佐藤文典東京都商工会連合会副会長(三鷹商工会会長)と清水豊典大島町商工会副会長が、そろって東京都功労者表彰を受ける
- 6 経営革新計画Part2「(有)鯛のたい」
- 6 多摩・島しょ地域のイベント 12月～1月
- 6 多摩地域商工会エリアの景況 27年度第2・四半期

国分寺市 Kokubunji

国分寺市の人口は12万人。東京都のほぼ中央に位置し、武蔵野の面影を残す住宅都市として、また、水と緑に彩られた文化都市として発展してきました。JR中央線をはじめ鉄道4路線が市域を縦横に走り、国分寺駅の1日の乗降客は10万人を超え多摩地域の交通の要衝となっています。現在、国分寺駅北口では2018年の完成を目指して再開発工事が行われており、新しい国分寺のランドマークとなるツインタワーなどの建設が進んでいます。

市内には「お鷹の道・真姿の池湧水群(名水百選)」、「武蔵国分寺跡(国指定史跡)」、「都立殿ヶ谷庭園(国指定名勝)」などの名所や旧跡があり、全国から多くの人が訪れています。また、国分寺市は初めてペンシルロケットの水平発射実験が行われた日本の宇宙開発発祥の地で、「コクブンジ」と命名された小惑星もあるという、科学的にも魅力のあるまちです。

▼東京都議会自由民主党に28年度予算などで要望
(マイクを持ち基本方針を述べる村越会長)



東京都議会 自民党・公明党・民主党に平成28年度予算等で要望 「小規模企業への支援のさらなる充実」など 新規2項目を含む16項目

東京都商工会連合会(都商工連)は9月7日、東京都議会の自由民主党、公明党、民主党を訪ね、平成28年度東京都予算などに対して要望しました。要望項目は、「小規模企業への支援のさらなる充実」、「商工会等を中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の充実」など16項目で、2つの新規要望項目を含みます。都議会を訪ねたのは、村越政雄会長と、鶴田和男、栗山昇、佐藤文典、山下真一の4副会長、傳田純専務理事、吉澤実事務局長、斉藤彦明総務課長らです。

村越会長は要望の基本方針を説明する中で、「多摩・島しょ地域の小規模事業者が置かれている経営環境は依然として厳しい。引き続き中小・小規模企業対策の重要性と商工会の使命を認識され、商工会が、求められている役割を安定して果たせるように、予算の確保と支援の強化に向け特段の配慮をお願いしたい」と要望しました。

また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを、多摩・島しょ地域を世界に発信する大きなチャンスととらえ、観光客を多摩・島しょ地域に誘導するための情報発信や、古民家を活用した民泊など受入体制の整備に対し積極的な支援を要請しました。さらに、多摩地域は新しいものづくりが育つ潜在力をもつ地域

であるとし、中小・小規模企業が新分野に挑戦し、起業や第二創業ができる拠点としたいと述べ、豊かな緑と環境に恵まれた小規模向け工業団地の整備を検討するよう求めました。

新たに要望した項目は、都税や公金の支払いが都内の金融機関でも行えるよう「バーコード収納」の実現を可能にするための「中小・小規模企業の事務負担軽減」と、島しょ地域で喫緊の問題となっている「離島港湾施設の整備等」の2つです。要望では村越会長が挨拶、基本方針を述べた後、傳田専務理事が重点項目を中心に説明しました。

1. 小規模企業への支援の更なる充実について

平成28年度 東京都予算並びに制度等に対する要望

- ① 商工会等に対する補助金の安定的確保及び経営改善普及事業の拡充
- ② 中小・小規模企業の持続的発展を促進する経営支援の継続と強化
- ③ 目指せ！中小企業経営力強化事業の充実強化
- ④ 商工会等を中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の充実について
- ⑤ 商工会等による経営発達支援を推進する支援体制の強化
- ⑥ 経営指導員の二層の資質向上を図る中小企業診断士養成課程への派遣支援
- ⑦ 商工会館の維持及び耐震工事等への補助制度
- ⑧ 多摩・島嶼地域への観光客誘致とおもてなし事業の実施について
- ⑨ 観光客を誘致するための古民家を利用した民泊等の受入体制の整備
- ⑩ 観光客誘致とおもてなし事業への支援
- ⑪ ものづくり中小小規模企業への支援の充実について
- ⑫ 中小小規模企業の防災省エネに関する支援の充実について
- ⑬ 耐震省エネに対する助成制度の拡充
- ⑭ 防災省エネ工事に伴う中小小規模企業の受注機会の確保
- ⑮ 中小・小規模企業の事務負担の軽減について
- ⑯ 都内金融機関窓口における都公金バーコード収納の実現
- ⑰ マインナー制度導入に係る十分な周知と支援策の措置
- ⑱ 多摩地域都市基盤整備の早期実現について
- ⑲ 多摩都市モノレールの上北台から箱根ヶ崎への早期延伸
- ⑳ 都営村山団地の早期建設と住民への利便性を考慮した商店配置
- ㉑ 都営住宅跡地「東大和市向原地区プロジェクト」の早期再開
- ㉒ 横田飛行場の民間利用促進について
- ㉓ 街路灯の市町村への移転と助成拡充について
- ㉔ 大規模小売店舗による地域社会への貢献について

島嶼地域要望

- 11. 離島航空路海路への補助制度等の支援について
- ① 離島航空路線における運賃引き下げ
- ② 特産品販売に関する航空貨物運賃補助
- ③ カンコン代補助の継続
- 12. 島嶼地域を対象とした若手後継者等育成事業の創設について
- 13. 三宅島への復興及び就労支援について
- ① 金融支援の弾力的運用と充実
- ② 中小・小規模企業者に対する相談指導業務に向けての助成措置
- ③ 三宅島における雇用機会の創出に関する支援
- ④ 観光産業活性化のためのイベント広場建設
- 14. 離島港湾施設等の整備について
- ① 港湾施設の計画的な改修(大島、新島、神津島、三宅島では地殻隆起でカーフェリー形式の貨客船が利用できない場合があり、早期の改修が必要)
- ② 元町港の荷物取扱い場の整備
- 15. 光ファイバー超高速通信網の整備について
- 16. 小笠原空港の早期開設について

(太字は28年度新規要望です)

平成28年度 自由民主党の
国家予算・税制改正等要望聴取会

「小規模企業の持続的発展に
実効性ある支援の拡充・強化」など

12項目を要望

村越会長

「東京オリンピック開催を機に、多摩・島しょ地域にも大都市近郊の住みよい地域づくりに向けての支援を」と訴え

東京都商工会連合会は10月2日、東京・永田町の自由民主党本部で、同党東京都支部連合会が開いた平成28年度国家予算・税制改正等要望聴取会において、「小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化について」など12項目の要望を掲げ、実現を求めました。聴取会には村越政雄会長と、鶴田和男、栗山昇、佐藤文典、山下真一の4副会長、吉澤実事務局長、斉藤彦明総務課長らが出席しました。

村越会長は要望の基本方針を述べ、中で、「地域の小規模企業の持続化を支援する商工会の役割がさらに重要になっている。多摩西部・島しょ地域では事業者の高齢化が進むなど、依然として厳しい経営環境にあり、地域の実情と支援現場の実態を踏まえた実効性ある支援を実施して欲しい」と強く要望しました。続けて、「2020年



▲自由民主党本部で要望の基本方針を述べる村越会長(中央)

東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、多摩・島しょ地域のさらなるインフラ整備を進め、多摩・島しょ地域についても大都市近郊の住みよい地域づくりにつなげていきたい」と訴えました。また「多摩地域は日本のシリコンバレーと呼ばれたが、実際は大企業の下請けとして頑張ってきた感がある。新たな起業の創出のために力を貸していただきたい。できれば世界中からの進出を期待している」と述べました。

要望の各項目については、吉澤事務局長が重点項目を中心に説明しました。平成28年度の新規の要望は「地域の実情にに応じて策定された全ての経営発達支援計画の迅速な認定」、「消費税引き上げの再検討と軽減税率の導入反対について」、「マイナンバー制度導入に係る十分な周知と支援策について」など4つです。消費税引き上げについては、昨

年4月の8%への引き上げで売上が減少している小規模事業者が地域で4割を超えていることから、実施時期などを含め再検討を求めました。また、軽減税率の導入は小規模事業者にとって事務負担の増大につながるとして反対しました。一方、マイナンバー制度については、一層の周知・広報が必要と指摘するとともに、マイナンバーの管理に関して中小・小規模事業者の負担を軽減する支援策を講じるよう要望しました。議員からは「中小・小規模事業者のマイナンバー制度導入に関する反応はどうか」などの質問が出ました。

平成28年度 国家予算並びに
制度等に対する要望

要望

1. 小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充強化について
- ① 小規模企業の実情を踏まえた具体的な支援策の充実
- ② 小規模企業経営支援事業予算の安定確保と事業範囲の拡充
- ③ 地域の実情に応じて策定された全ての経営発達支援計画の迅速な認定
2. 小規模事業者向け融資制度の層の充実について
3. 消費税引き上げの再検討と軽減税率の導入反対について
4. 震災復興・原発事故の早期収束と電力の安定供給について
5. 官公需の更なる中小小規模企業配分について
6. 中小小規模企業の社会保険料の負担軽減について
7. マイナンバー制度導入に係る十分な周知と

支援策について

8. 商店街の活性化について
 9. 多摩地域都市基盤整備の早期実現について
 - ① 多摩都市モノレールの上北台から箱根ヶ崎への早期延伸
 - ② 東京外かく環状道路(関越道)湾岸線の整備促進
 10. 横田飛行場の民間利用促進について
 11. 離島航空路線における運賃引き上げについて
 12. 小笠原空港の早期開設について
- (太字は28年度新規要望です)

人事交流

- 【採用】(9月1日)▽神津島村・記帳相談員 鈴木祐華
- 【異動】(9月1日)▽神津島村・業務支援員(記帳相談員) 松浦杏奈
- 【退職】(9月30日)▽調布市・業務支援員 吉川和良

企業調査のプロが教える
「危ない会社の見分け方」

11/26
あきる野で
セミナー

あきる野商工会と東京都商工会連合会は、11月26日(木)19時からあきる野ルピア(秋川駅徒歩5分)でセミナー「危ない会社の見分け方」を開きます。本セミナーでは、(株)東京商工リサーチ情報本部情報部部長の松永伸也氏が、未収金回収トラブルを未然に防ぐ方法を、事例も取り入れながら分かりやすく説明いたします。定員は40人、受講料は無料。

申込み TEL 東京都商工会連合会 地域振興課 042-500-3885
WEB 東京都商工会連合会 セミナー 検索

平成
27年度

前期代表者会議・主張大会 前橋で開催

顕彰部門の「ネットワークづくり」で
安齋さん(小平商工会青年部)が
全国大会へ

関東ブロック商工会
青年部連絡協議会

関東ブロック商工会青年部連絡協議会の「平成27年度前期代表者会議・主張大会」が9月17、18日の両日、前橋市で開催されました。会議・主張大会には関東ブロック10都県の青年部連合会から約700人が、うち東京商工会青年部連合会からは86人が参加しました。開会式では、主催者の前島郁夫関東ブロック商工会青年部連絡協議会会長らが挨拶。また、来賓として、渡部季八公子関東経済産業局産業部経営支援課長、植村和宣全国商工会青年部連合会会長らが出席し、祝辞を述べました。

東京都および各県の青年部連合会の代表者12人で競われた主張大会では、埼玉県・吉川市商工会青年部の小林寿朗さんが最優秀賞を受賞しました。東京都商工会青年部連合会からは羽村市商工会青年部の山崎亮さんが出場しました。

また、青年部の組織・事業を顕彰する顕彰部門では、人(ヒューマン)づくり部門で茨城県・那珂市商工会青年部の中川純一さんが、ネットワークづくり部門で東京都・小平商工会青年部の安齋圭太郎さんが、まち(地域)づくり部門で茨城県・大洗町商工会青年部がそれぞれ選ばれ、11月10、11の両日、神戸市で開催される全国大会に駒を進めました。

東京都功労者表彰

「産業振興」で佐藤文典・都商工連副会長
「善行」で清水豊典・大島町商工会副会長

東京都功労者の表彰式が10月1日、東京都庁で行われ、佐藤文典東京都商工会連合会副会長(三鷹商工会長)が「産業振興」で、清水豊典大島町商工会副会長が「善行」で、それぞれ功労者として表彰されました。

今年、東京都功労者として表彰されたのは、産業振興、文化、スポーツ、善行など13の分野の258人の個人と、26の団体です。佐藤氏は、都商工連副会長や三鷹商工会長として地域経済を振興した功績が、清水氏は、伊豆大島土砂災害に際しての被災者支援に対する尽力が、都民の生活と文化の向上に功労があったとされました。



▶佐藤文典氏



▶清水豊典氏

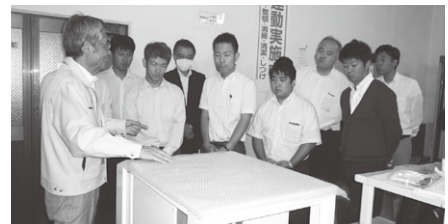
舩添要一都知事は表彰式で「皆さんは地方自治や地域経済の発展などさまざまな分野で情熱をかため、多大な功績を上げられた。東京都民を代表して心から感謝を申し上げます」と述べ、功労者の功績を称えました。

製造業者支援を目的に

事業所見学会を開催

- 上島製作所
- タチエス技術・ものづくりセンター

を訪問



▶試験機の説明をする上島製作所の佐藤社長と熱心に聴く商工会職員

東京都商工会連合会は9月17日、商工会職員を対象にした業務研修会として製造業の事業所見学会を行いました。製造業者を支援するために

271の中小企業と13の支援機関・団体が出席
江戸・TOKYO 技とテクノの融合展

東京信用保証協会が主催し、東京都や東京都商工会連合会(都商工連)などが後援する「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2015」が10月2日、東京・丸の内での東京国際フォーラムで開かれました。都商工連も支援機関エリアに出展、来場者に支援事業などをPRしました。

同展は、中小企業同士の業種・業態を超えたビジネス交流、取引先や提携先の開拓、新技術・新製品のPRなど、情報収集の場を提供するビジネスフェアです。今回は、中小企業271社、支援機関13機関・団体が出展しました。

開場に先立って行われた開会式では、村山寛司東京信用保証協会理事長をはじめ、来賓の山本隆東京都産業労働局長、村越政雄都商工連会長らがテープカットに臨みました。

▼オープニング(右から3番目が村越都商工連会長)



必要な知識や支援のあり方を研修することが目的です。各商工会から13人が参加しました。

最初に見学した試験機メーカーの株式会社上島製作所(国立市)では、佐藤親弘社長自らが会社説明を行い、その中で「企業にとって事業の継続が最も大切。商工会には事業承継に積極的に取り組んでもらいたい」との要望がありました。また、自動車部品メーカーの株式会社タチエス技術・ものづくりセンター(青梅市)では、「自動車メーカーの納期や製品仕様水準などの厳しい要求を満たす取り組みを行うとともに、全社員で情報を共有・管理している」との説明がありました。

わが社の

新製品・新事業への挑戦で
さらなる飛躍を!

経営革新計画 PART 2

(有)鯛のたい

振動を軽減する防振クッション 「セルバッグス」の製造販売

「鯛のたい」という社名は、魚介類の産地直送の会社を起した時に付けたもの。しかし、うまくいかなかった。その後は、以前、勤めていた金属加工用の切削油を扱うメーカーの代理店となり20数年やってきた。社名は切削油とはかけ離れているが、一度聞けば忘れないし、気に入っているものでそのままに。ただ、この事業は価格競争が激しいうえに、ものづくり企業がどんどん海外展開していることもあって先細りと判断し、新しい事業を必死にならざるを得なかった。

私は漁師の息子で、船を操る時に振動がきつくて疲れると感じていた。これを防げたらと思い「防振手袋」を考案した。振動が伝わらず疲れない。そこから、ヒントを得て開発したのが防振クッション。特殊な液体を強化フィルム製のバックに小分けして入れ、これを平面状に並べてカバーをかけたものだ。液体は振動の原因となる物質波を伝えなため、振動が防げる。しかし、この性質を利用した製品は世の中になく、ニッチな分野なので成算はあると踏み「セルバッグス」の商品名で製造販売を始めた。

ただ、新しい事業を軌道に乗せるためには資金

が不足していた。そこで、日野市商工会に相談し、アシストプログラムを使って中小企業診断士から意見を聴く機会を得た。その時に「経営革新計画」という支援制度を知った。東京都商工会連合会の経営革新室の支援を受けて申請書を作成し、新事業計画が平成26年6月に承認された。承認されたことで、さまざまなメリットを得たが、最大のものは日本政策金融公庫から低利で融資が受けられたことだ。

また、産業交流展へも出展できた。その際に、代理店として扱わせてくれないかというオファーもあった。しかし価格面で折り合いがつかず、断念した。しばらくは、実際に使ってもらって「コソコソ」と市場を拡大していきたい。今、大手のバス会社で実験的に使用中だ。長距離バスなどの防振シートとして疲労軽減の効果が認められれば、利用者の拡大につながるのではないかと期待している。

(日野市南平3-1626 サンパークビル)



代表取締役
澤村 辰夫 氏



防振クッション「セルバッグス」を事務いすに装着した例

事業主の皆様へ

個人住民税の「特別徴収」推進にご協力をお願いします!

■地方税法では、従業員の個人住民税は、毎月の給与から事業主が差し引いて納める「特別徴収」が原則となっています。特別徴収の実施にあたり、事業主の皆さまのご理解ご協力をお願いいたします!

■首都圏では、原則、全ての事業主を特別徴収義務者に指定します。

平成 27 年度 埼玉県 の全市町村で
平成 28 年度 千葉県、神奈川県 の全市町村で
平成 29 年度 東京都 の全区市町村で

特別徴収の
実施徹底!

■詳しくは各都県のホームページをご覧ください。下記のキーワードで

検索

埼玉県 特別徴収

千葉県 特別徴収

東京都 特別徴収

神奈川県 特別徴収

住民税は給与からの特別徴収で！
よろしくお願ひします!



埼玉県
コバトン



千葉県
チーパくん



東京都
ぜいきりん



神奈川県
かながわキンタロウ

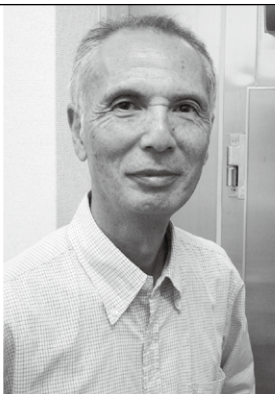
事務局：九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)特別徴収推進検討会

私と
商工会

| vol.12 |

事業規模に合った資金計画と
綿密な需要予測ができた
商工会の支援の幅が
各段に広がっていることを実感

ファミリーレストランBIG
代表 松島 良清氏



大島町商工会さんとは創業以来のお付き合いです。私は1990年に大島で焼肉食べ放題の店をオープンさせました。その時に創業資金の相談で飛び込んだのが商工会さん。当時の経営指導員の方と一緒に四苦八苦しながら開業までもっていったことを、今でも鮮明に覚えています。

焼肉店を経営する一方、2015年初めに、凍結しても細胞を破壊せず解凍後も鮮度が保たれる「CAS (セル・アライブ・システム) 冷凍」を使った鮮魚の卸し事業と、ランチ事業を始めようと考えました。新事業の開始に当たり、問題となったのはCAS導入に伴う大きな初期費用でした。高額な機械装置であり自己資金以外の資金調達が必要でした。そんな状況の中で、本当に親身に相談に乗ってくれたのは商工会さんでした。指導員の方と相談していく中で、初期投資の減額と販売先の開拓という課題が見つかりました。

そこで、事業規模に合ったCAS装置を選ぶとともに、島を訪れる観光客の数と販売先となる宿泊施設などの需要の想定から綿密な販売計画を立て、実現性の高い企業変革プランをまとめました。その結果、アシストプログラム、エキスパートバンクをはじめ、東京都中小企業応援ファンド・地域資源活用イノベーション創出助成事業、島しょ地域中小企業等振興補助事業などの支援事業に採択され、CASの導入につながり、新事業をスタートできました。

また、9月には指導員からの紹介で小規模事業者持続化補助金も申請し採択を受けました。ここ数年で、商工会の支援内容は税務、金融、経営にとどまらず支援の幅が格段に広がってきていると実感しました。特に補助金等の申請は、事業主個人で計画申請するには難しい部分が多いのですが、ポイントを理解されている商工会さんの指導は私自身にとって非常に勉強になりました。今後も商工会さんと共に日々精進していきたいと思っています。

| 会社プロフィール |

地元産の魚を地元で食べられるように

1990年に大島初の焼肉食べ放題「ファミリーレストランBIG」を開業。2015年からファミリーレストランBIGの別部門「島の大海・大島」として鮮魚の卸し、ランチ事業を展開している。長い間、焼肉店の経営を続けてきた松島氏が、次の展開のターゲットにしたのは伊豆大島近海産の鮮魚だった。その中でも特にこだわったのが金目鯛と目鯛。大島で金目鯛、目鯛はポピュラーな魚だが、島内での流通となるとそれほどお目にかかる機会は多くない。島内で消費するとなれば、安定した需要が継続しないと商品をさばくことができないからだ。

大島を訪れた観光客の方に、「おいしい魚を食べて満足して帰ってもらいたい」という思いで「島の大海・大島」を開始した。この事業の最大の武器はCASという凍結装置を利用していること。このCASは水揚げされた魚を新鮮な状態で長期間保存することが可能で、解凍時は水揚げされた時と同じ鮮度を保つことができる。これによって漁獲量や季節に関係なく新鮮な鮮魚を島内の宿泊施設、飲食店に販売することが可能になった。

この事業はまだ始まったばかりだ。まず第1歩は、地産地消を目指し、大島の中で新鮮な地元の魚が食べられるよう島内販売先を確保することにある。次のステップとして他島、島外への販路拡大を視野に入れている。

- 住所：東京都大島町元町字赤禿24-1
- TEL：04992-7-5626
- URL：http://www.shimanotaikai-os.com/

経営指導員
から一言

河野 敬太
大島町商工会 経営指導員

島の食材をより多くの方に

松島社長のCASに対する思い入れはとても熱いものがありました。相談を受けてから実現まで紆余曲折があったのですが、実際にCASで凍結された魚を食べた時は、その新鮮さに驚きました。島の産業、観光のためにも絶対必要だという思いを強くしました。

現在は販路拡大に向け、取り扱っている魚の種類も徐々に増えつつあり、次のステップに移ってきたと感じています。松島社長の事業を支援することで、より多くの方に島の食材の魅力を実感して欲しいと思います。

全国商工会経営者 休業補償制度

お問い合わせは
お近くの商工会

または

東京海上日動火災保険

損害保険ジャパン

あいおいニッセイ同和損害保険

●就業中／業務外を問わず、病気・ケガによる月々の所得を補償します。

●保険料は一般加入より**37～52%**の割引です。

●最長**1年間**のロング補償です。

●入院中はもちろん、**自宅療養**による休業や、**天災が原因のケガ**による休業も補償いたします。



商工会

女性部 全国大会 in TOKYO

東京都内27商工会女性部が3000人をおもてなし

全国商工会女性部連合会と東京都商工会女性部連合会が主催する「第17回 商工会女性部全国大会 in TOKYO」が、10月7日、東京・渋谷のNHKホールで開催されました。女性部全国大会が東京で開かれるのは今回が初めて。「確かな真心、未来へ続け、がんばる力!～女性の輝きで街ににぎわいを～」のスローガンのもと、3000人を超える商工会女性部のリーダーが全国から結集、熱気にあふれた大会となりました。大会では、東京都内27商工会の女性部員約300人が、全国からのお客様に対し、心のこもった精一杯のおもてなしをしました。

開会に先立ち、大会旗が全国商工会女性部連合会から関東ブロック商工会女性部連合会連絡協議会に渡され、同協議会会長で本大会の実行委員長である廣瀬可世子東京都商工会女性部連合会会長が「今日1日楽しんでいって下さい!」と開会のことばを述べ、大会が始まりました。続いて大会会長の末武栄子全国商工会女性部連合会会長が「こんな大きな会場で全国大会が開けることは、都女連はもちろん、皆さん一人ひとりのご協力のおかげです」と挨拶。来賓の豊永厚志中小企業庁長官、前田信弘東京都副知事、高島なおき東京都議会議長らの祝辞の後、石澤義文全国商工会連合会会長の後援者挨拶がありました。続いて村越政雄東京都商工会連合会会長が「東京に来てよかったと思えるよう、おもてなしの準備ができています」と歓迎の挨拶を行いました。

大会のメインイベントである「主張発表全国大会」には、全国6ブロックを勝ち抜いた代表が出演。女性部活動や地域振興、まちづくりに積極的に関わった体験談を発表、身振り手振りを加えながらの熱演で会場を沸かせました。審査の結果、中国・四国ブロック代表の香川県・さぬき市商工会女性部の寒川福見（さんがわ・ふくみ）さんが最優秀賞に選ばれました。審査委員長の林大樹一橋大学大学院教授は「女性部員の増強という全国の商工会共通の課題について、非常によい取り組み例を示していただいた」と高く評価しました。

大会終了後は、新宿・京王プラザホテルに場所を移し、交流会を開きました。

また、8日には、大会参加者が都内各地に分れてエクスカッション（体験型見学会）が行われました。



▲関東ブロック商工会女性部連合会連絡協議会に渡った大会旗



▲全国からのお客様をお出迎え

▲3000人を超える女性部リーダーで埋まったNHKホール



全国商工会女性部連合会会長
末武 栄子氏



東京都商工会女性部連合会会長
(関東ブロック商工会女性部連合会連絡協議会会長)
廣瀬 可世子氏



中小企業庁長官
豊永 厚志氏



東京都副知事
前田 信弘氏



東京都議会議長
高島なおき氏



東京都商工会連合会会長
村越 政雄氏

役職名は大会開催時のものです

主張発表全国大会の最優秀賞



さんがわ ふくみ
寒川 福見さん
香川県
さぬき市商工会女性部
中国・四国ブロック

